

徳島市渋野小学校



1 学校の概要

- ① 児童数 250名
- ② めざす児童像
 - 話をよく聞く子
 - 友達を大切にする子
 - 進んで運動する子
- ③ 環境目標

環境負荷の現状を把握し、環境負荷低減のための活動を実践することを通して、その活動を学校から地域へ広げよう。

2 行動方針（渋野小エコッ子プロジェクト）

- ① 校舎・校庭の美化活動に努めます。
- ② 資源ごみの回収を行います。
- ③ 電気使用量の削減をします。

3 行動

- ① 校舎・学校周辺のクリーン運動



「やろうよ！！535うんどう（1日にごみを5個拾う）」と銘打った美化活動を朝の縦割り活動で実施した。また、6年生を中心に地域の方と一緒に学校周辺のクリーン運動を行った。これらの活動によって、「ごみ一つない渋野小学校」へ向けた取り組みの意欲が高まった。

- ② 資源ごみの回収

保護者・地域の方々の協力を得て、段ボール・雑誌・アルミ缶等の資源ごみの回収を毎月1回実施している。



③ 電気使用量の削減

照明スイッチの横に「こまめに電気を消しましょう。」というメモカードを掲示することによって、電気使用量の削減の意義を説明した。説明の内容が難しいため、児童集会等で1年生にもわかるように補足説明をしている。



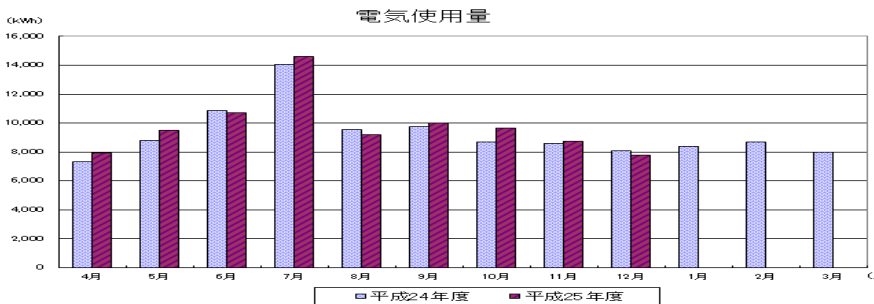
【こまめに電気を消しましょう。】

40ワットの蛍光灯1本を1時間消すと、1年間16.1kwhの電気使用量、二酸化炭素で6.1kg、金額で185円が節約できます。教室の蛍光灯は2本組になっているので、1年間に32.2kwhの電気使用量、二酸化炭素で12.2kg、金額で370円が節約できます。

4 具体的効果

- ① 校舎・学校周辺のクリーン運動は、環境委員会が主体となって取り組んでいる「535運動（1日にごみを5個拾う）」が全校児童に浸透しつつある。そのため、児童自ら進んで校舎内外に落ちているごみを拾う姿が年度初めに比べると増えてきた。
- ② 資源ごみ回収に関しては、保護者・地域の方々の協力を得て取り組んでいるため、子どもたちの関心が高く、家庭から出た資源ごみを学校に持ってくる児童が大勢いる。また、「資源ごみのゆくえ」と題した調査活動を社会科や総合的な学習の時間等を活用し、その学習成果を全校集会等で発表することによって資源ごみ回収の意欲がより一層高まった。

5 改善点



- ① 上図のグラフが示すように、電気使用量の削減に関する成果はまだ現れていない。児童集会等で節電を呼びかける取り組みが必要となる。
- ② 現在取り組んでいる渋野小エコっ子プロジェクトは、まだまだ教員主導型の性格が強い。そのため、児童の中には、活動に消極的・受動的な者も少なからずいる。今後、児童会の組織に位置づけ、代表委員会の中心的な活動とした取り組みにしていきたい。